

農 旭 PTA ニュース

編集 発行 北海道旭川農業高等学校 PTA 事務局

2019年7月22日
(令和元年度)
No.132

PTA活動に

ついて

PTA会長 石尾 卓也



保護者の皆様におかれましては、日頃より本校PTA活動に對しまして深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

生徒諸君は授業や農業クラブ、部活動などを活発に行い、充実した高校生活を送られていることと思いません。また、日頃からご指導頂いている教職員の皆様にも心から感謝申し上げます。

例年PTA活動として旭農祭に参加協力させて頂いております。旭農祭には保護者の皆様をはじめたくさんのお客様に旭農生徒の活動を知っていただき、盛会の中終えることができました。

さて本校では、クラス代議員の皆様が中心となつて学年クラス単位での活動を行っています。このような活動を通して保護者同士や先生方との交流を深めていただきたいと思います。

ます。

農業高校の特権でもある静、動両方の生き物を育てる授業を本校では行っていますが、生き物を育てる大切さ、そして喜びを生徒諸君は、日々学んでいることと思います。昨今のニュースなどでも流れています。動物や命を簡単に傷つけたり絶つてしまつたりと、痛ましい事件事故が増えてきています。これからの社会に

つながりを広げて

大きな力に

校長 田村 弘樹



風が吹くとヒバや白樺アカマツイチョウの匂い。葉が揺れる音。鳥の鳴き声を聞きながら、本校見本林を通り濃淡様々な緑に囲まれたなか登校してくる生徒たち。入学式や始業式が終わ

り、久しぶりに生徒たちの弾んだ声や、清々しい挨拶が見本林の音に乗って校長室まで伝わり毎朝、心のエネルギーをいただいています。

求められる社会人として、育てる大切さ、喜びを学んで果立っていく生徒諸君は、農業に限らず、きつと役に立つでしょう。そのためにも今までの諸先輩方が築き上げてきたPTA活動をさらに一歩前進できるよう、今後もPTA・クラブ後援会の活動にご理解を頂き、役員の皆様と会員皆様には益々のご協力を頂けま

保護者、地域の皆様には日ごろから、子どもたちの健やかな成長を願ひ、温かく見守り、本校教育活動に深いご理解とご協力、ご支援をいただいております。四月八日(月)に入学式を挙行し、一六一名の新入生を迎えました。新入生代表の農業科学科朝倉拓己くんが旭川農業高校の生徒として自覚と誇りを持ち、夢や目標の表現に向け、校訓「誠実・勤労・剛健」を胸に一生涯取り組むことを誓いました。二年生、三年生もそれぞれ学年が上がり全校生徒四七九名、教職員五五名で新時代の教育活動がはじまりました。現在、高校教育においては新学習指導要領への対応や高大接続、働き方改革等、多岐にわたる課題に直面しております。新学習指導要領が目指す「未来社会を切り拓くための資質・能力を一人一人に確実に育む」という理念を

現するためには、教育課程全体を通して取り組みを通じて、教科等や学年を超えた組織運営の改善を行っていくことが求められています。生徒保護者、地域の声を丁寧に拝聴させていただき、「地域に根ざし活力ある学校」、「自分の可能性に果敢に挑戦できる学校」を目指し、教職員自らが真剣勝負の姿勢で教育活動に力を注いでいく所存であります。

個人内成長の著しい三年間でもあります。高校は社会に出る準備期間とも言われるなか、生徒たちは心の安定・不安定を行き交いながら、そのゆらぎをどう乗り越えていくかという時期でもあります。本校の生徒たちは皆、素直で礼儀正しく、学校全体も非常に落ち着いています。とはいってもやはり高校生です。高校生という、まさに自己を確立しているころとする段階の生徒たちにとって、「頑張ることができない」ときもあれば「頑張ることができない」ときもありました。そのどちらもちゃんと受け止めて、安心して学校生活を送ることができるようになることが学校としての基本であります。そのときに家庭と学校、その他関わる大人たちがつながって見守り、子どもたちの成長とともに喜び合える関係として、PTA本来の意味で保護者と教員がその活動環境をともに創つていきたいと考えております。今後とも旭農の生徒たちのために、変わらぬお力添えをいただきますようお願い致します。

始めは緊張の面持ちの生徒たちも少しずつ高校生活に慣れ、授業や行事、部活動に意欲的に取り組んでいます。特に五月に行われた宿泊研修では、生徒間の距離が縮まりクラスの一体感も生まれました。今後の高校生活においても、生徒同士が互いに理解し合い、協力するとともに、自分の可能性を信じて、さまざまな事に挑戦していきけるよう指導、サポートに努めて参ります。今後とも保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願ひします。

食品科学科一年

担任 梅田 英一

三月に卒業生を送り出し、四月から新入生の担任となりました。前回の担任時も幼い顔の新入生を迎えましたが、卒業する時にはしっかりと成長の跡を感じられました。高校生活は楽しい事ばかりではなく、辛さや苦しさもあると思いますが、クラス全員で乗り越えることができればと思っております。

今後も食品科学科一年生四十一名が健やかに成長できるように、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

森林科学科一年

担任 大村 竜二

入学式から三ヶ月が経ち、高校生活にも慣れて授業や実習、部活動などに元氣よく励む姿が見られるようになりました。休み時間も友人同士楽しく過ごしている様子がうかがえます。一年森林科学科の良いところはたくさんありますが、特に、ほとんど休まずに登校する集団だということを担当として誇りに思います。これも、保護者の皆さまのご協力が

担任紹介

農業科学科一年

担任 峯田 英恵

入学してから三ヶ月が経ちました。

あつてこそだと思つていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

生活科学科一年

担任 今泉 純一

四月八日に入学した女子四〇名でスタートした一年生活科学科。最初は、緊張のし過ぎか大人しく良い半面、心配もしていましたが、ゴールデンウィークを過ぎてから緊張もほぐれ、高校生活に慣れてきた様子が見えます。五月に行われた宿泊研修でも、二泊三日を通して、クラスの和を深めることができました。

まだまだ、『発展途上』の一年生活科学科四〇名ではございますが、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

PTA・クラブ後援会より

PTA・クラブ後援会

総会報告

四月二十六日(金)、本校多目的教室において令和元年度PTA・クラブ後援会総会が行われました。PTA会長、校長の挨拶の後、前年度の事業報告、会計決算報告が行われ、次いで今年度の事業計画、会計予算、役員改選といった案が審議され、原案どおり可決承認されました。

令和元年度役員(敬称略)

- 会長 石尾 卓也 3L
- 副会長 中木 町子 3A
- 萩野 和美 2M
- 中野渡 仁 2L
- 赤田 愛音 2A
- 村岡 裕一 3M
- 朝倉 克己 1A

(クラブ後援会)

- 会長 長谷川 新 2A
- 副会長 鈴木ふさえ 3F
- 中瀬 歩美 2L
- 近藤 好朗 2A
- 山田ひろみ 2F
- 大下 正洋 3M
- 伊藤 寛範 1A
- 羽根 敏 1A

(学級代議員)

- 3A 小野寺めぐみ 森木 伸
- 3M 藤井 幹子 八木 斉
- 3F 菅原 達朗 横田 誠慈
- 3L 松原いづみ 村田 玲子
- 2A 木下 政哉 三浦 哲也
- 2M 長縄 香 西井 麻美
- 2F 佐々木祐子 出町由起子
- 2L 佐々木陽子 小野寺倫江
- 1A 赤塚 和美 遠藤 忍
- 1M 金田 千恵 塩月 方美
- 1F 安孫子里里 松本 郁美
- 1L 柿木 忍 中川 紘子

令和元年度表彰者(敬称略)

(表彰状授与)

- 佐藤 絢也(前PTA会長)
- 安彦まさみ(前PTA副会長)
- 伊林 和彦(前クラブ後援会監事)
- 平野こずえ(前学級代議員)
- 神馬 静香(前学級代議員)
- 野村 一恵(前学級代議員)
- 北山 桂子(前学級代議員)
- 阿部美由紀(前学級代議員)
- 多羽田有子(前学級代議員)

全道高P連胆振・日高大参加報告

六月一日(土)・二日(日)、苫小牧市で開催された第六十九回全道高P連胆振・日高大に、本校のPTA・クラブ後援会役員六名が参加しました。一日目はランドホテルニュー王子で、元北海道日本ハムファイターズコーチの白井一幸氏による

「可能性を引き出すコミュニケーション」と題した講演のほか、教育懇談会が行われました。二日目の分科会では、苫小牧工業高校を会場に全道各校のPTA活動についての情報交換が行われました。



全道高P連総会会場

宿泊研修を終えて

農業科学科一年 横井 咲恵



私は宿泊研修でたくさんのごとを学ぶことができました。自主研修やハイキングなどを通して、一致団結して行動することの大切さや達成感を得ることができたと思います。自主研修では、同じ班の人達と一緒に行動しました。美瑛でジェラートを食べたり、羊やポニーと触れ合ったり、きれいなカフェでお昼ご飯を食べたりして、とても楽しかったです。普段学校であまり話すことがなかった人達とも、自主研修をきっかけにたくさん話すことができたので嬉しかったです。美瑛はあまり行ったことがなく、班の皆とはぐれないように注意して行動しました。そのおかげで閉結することができたと思います。

ハイキングは、坂がものすごく急なのでとても疲れました。しかし、頂上に到着し、達成感を得ることができたと思います。帰りの坂も急で

大変でしたが、無事に宿泊施設まで戻って来られたのでよかったです。高校に入って初めての大きな行事だったので少し不安もありましたが、困ったときお互いに助け合ったり、友達と一緒に話して笑ったりしていくにつれて、その不安はすぐに消えていきました。やはり、仲間と協力して何かをやり遂げることは本当に大切だと思いました。これから先も、いろいろ大きな行事があるので、一杯頑張ってください。

食品科学科一年 伊藤 明菜



旭川農業高校に入学して約二ヶ月。宿泊研修がありました。クラスや学校には慣れてきましたが、私は人見知りや皆との間に無意識のうちに見えな壁を作っていたと思います。そのため、宿泊研修前はとても緊張していました。トラブルを起こさないように、みんなの足を引っ張らないようにと、そのような事ばかり考えていました。

しかし、宿泊研修が進んでいく中でそのような不安は消えてなくなりました。自主研修、ハイキング、発表会など様々な体験を通して、友達の好きなものや悩んでいること、良いところ等たくさん知ることができ、私が皆の間に無意識に作っていた壁はなくなっていました。今までは迷惑をかけるようにと考えていた私でしたが、一緒に解決策を考えてくれる人達だと知り、私の考えは少し変わりました。もちろん迷惑をかけないようにするべきですが、それが怖くて壁を作ってしまったのは皆との間は縮まらないので、もつと皆のことを知り、今まであった距離を縮

めていきたいと考えるようになりました。友達との間の壁を消すことができた大切な体験でした。これからの高校生活では色々な経験をしましょう。実習も始まり、学校祭も迫っています。友達との関わりの中で皆のことを知り、大切な思い出を多く作っていききたいと思えます。そして私も誰かの見えない壁を崩せる人になりたいと感じた宿泊研修になりました。

森林科学科一年 中田 和希



三日間の宿泊研修は楽しく、そして学ぶことがたくさんありました。一日目は自主研修でした。私たちの班は富良野に行きました。仲間と協力して目的地まで行くことができました。

二日目はハイキングがありました。想像以上に長く険しい道でしたが、皆と話したり助け合ったりしてなんとか往復することができました。三日目は自主研修発表と校歌発表がありました。どちらも緊張しましたが、うまくいったので良かったです。最優秀賞は無理でしたが、楽しくいい思い出になりました。私はこの宿泊研修を通して仲間の大切さを学びました。困ったときは友達に聞いたり、暇な時間は話したり遊んだり、仲間は大切なものです。逆に一人だと何もできません。これからの学校生活ではたくさん行事があります。その中でクラスとの「仲間」と協力して、三年間頑張っていきたいと思っています。

一年生活科学科

大橋 紗矢



入学してから... 泊研修が三日間... 中では楽しかった事が三つありま

一つ目は、富良野であった「自主研修」です... 二つ目は、「ハイキング」です...

三つ目は、「校歌発表会」です... 私たちは最初、歌詞も全然覚えてな

で、クラス全員で団結し、楽しかったと思えるようにしたいです。



ガーデニング甲子園 2年ぶりに大賞



六月二十一日、二十二日、札幌大通り公園で実施された花フェスタ二〇一九札幌第一〇回ガーデニング甲子園に生活科学科三年アグリデ

ザイン班の生徒一〇名が参加してきました。結果二年ぶり七回目の大賞を受賞することができました。

今年のテーマは、「旭川の誇り」、旭川を代表する旭橋とツインハーブのデザインを両サイドと背面に、そして、中央は全国一の動物園として有名な旭山動物園をデザインしました。

動物園を表現するため三つの行動展示を選びました。レッサーパンダのつり橋、アザラシの円柱水槽、オランウータンの空中散歩です。

しかし、結果は「大賞」、地元旭川を表現できていること、色とりどりの花の配置、花の状態、そして一人ですべて表現したプレゼンが高く評価

されました。完成までには、いろいろと苦労もありましたが結果を残すことができて本当にうれしく思います。

第72回旭農祭

七月五日(金)、六日(土)の二日にわたり、「ブルーチボンチ」個性さまざまにはじけよう」のテーマの下、第七十二回旭農祭が開催されました。

高体連など 旭川支部大会の記録

Table with multiple columns listing sports events (e.g., 野球部, サッカー部, ソフトテニス部) and their respective results (wins, losses, scores).

